

# 令和6年度千代川水害タイムライン検討会（第14回）

日時：令和6年12月13日13時～14時30分

場所：鳥取県庁第2庁舎4階 第34会議室

## 議 事 次 第（案）

1. 開会の辞            鳥取河川国道事務所   （河川）副所長
2. 挨拶                鳥取大学 学術研究院 工学系部門 三輪浩教授
3. 検討内容 【資料1】
  - (1) はじめに
  - (2) 第13回検討会での意見と対応
  - (3) 令和6年度のタイムライン発動状況
4. 連携項目抽出版タイムラインの更新に関する説明 【資料2】
  - (1) 連携項目抽出版タイムラインの更新について
  - (2) 更新方針
  - (3) 更新イメージ
  - (4) 今後の調整
5. 総        評

### ※千代川水害タイムライン検討会

本検討会は、円滑な関係機関の連携など防災体制の万全を期するため、タイムラインの運用方法を関係機関で共有し、また各機関の防災業務に必要な情報交換を行い、出水時における協力体制の強化を図ることを目的とする。

### <配付資料>

議事次第、出席者一覧

資料1 千代川水害タイムライン検討会(第14回)検討会資料

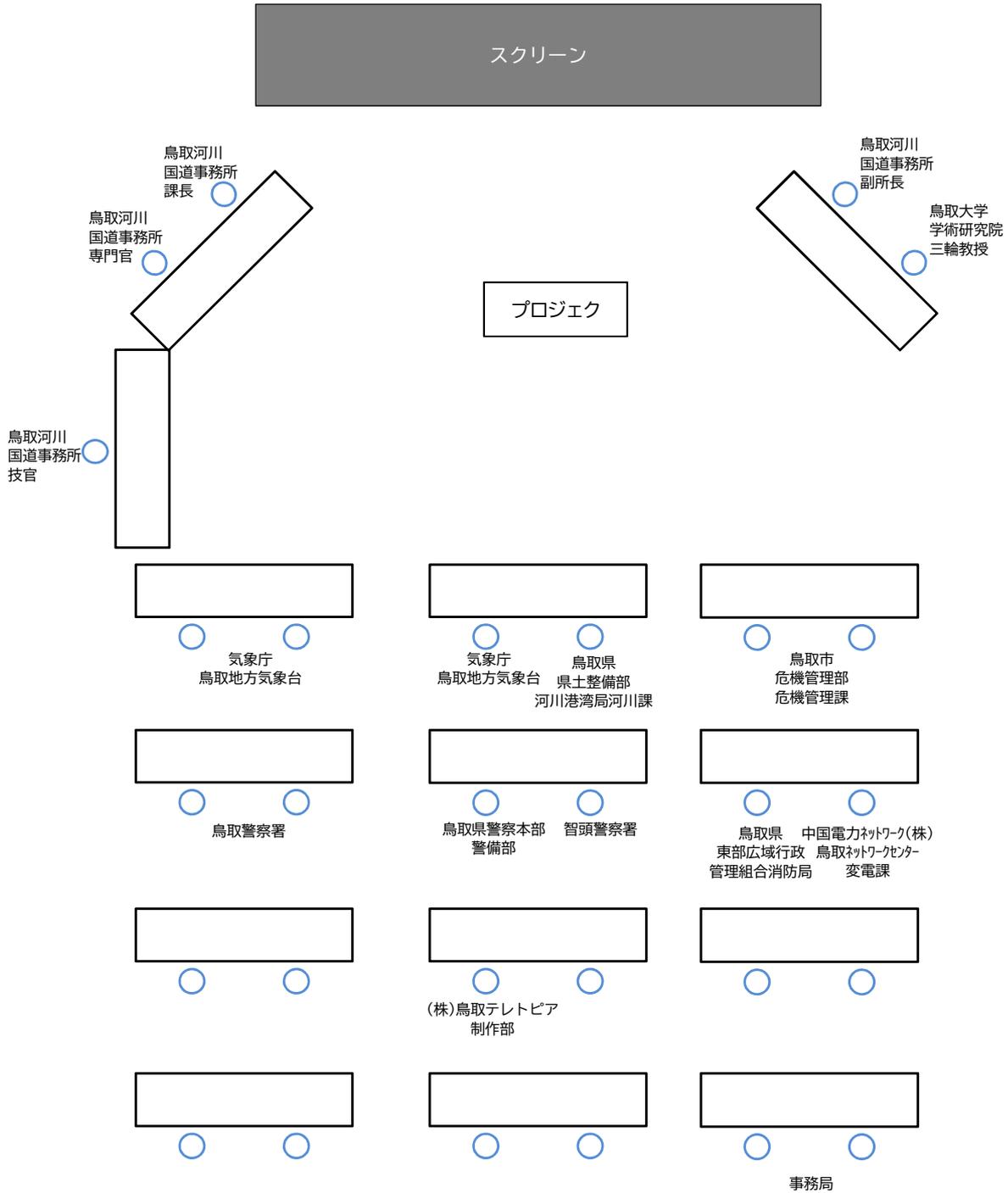
資料2 連携項目抽出版タイムラインの更新に関する説明資料

# 令和6年度千代川水害タイムライン検討会（第14回）

## 出席者一覧

機関・所属名	役職	出席者	備考
鳥取大学学術研究院 工学系部門	教授	三輪 浩	
気象庁 鳥取地方気象台	観測予報管理官	遠藤 敬裕	
	水害対策気象官	西村 修一	
	流域治水対策係	安田 太樹	
鳥取県 県土整備部 河川港湾局河川課	企画担当	椎木 孝三	
鳥取県 鳥取県土整備事務所 計画調査課	課長補佐	山本 真也	欠席
鳥取県 危機管理部 危機管理政策課	主事	伊藤 佑馬	欠席
鳥取市 危機管理部 危機管理課	危機対策係長	米田 勉	
	主任	益田 悠生	
NHK 鳥取放送局	副部長	瀬川 明成	欠席
日本海テレビジョン放送(株) 報道制作局 報道制作部	部長	濱吉 寛匡	欠席
(株)山陰放送 鳥取支社 コンテンツ局 鳥取報道部	専門部長	日野 彰紀	欠席
山陰中央テレビジョン(株) ニュース制作局報道部	担当部長	山根 収	欠席
日本海ケーブルネットワーク(株) メディア推進部	主任	森田 拓也	欠席
(株)鳥取テレビ 制作部	次長	橋尾 千秋	
鳥取県警察本部 警備部 警備第二課	災害係長	植田 伸起	
鳥取警察署 警備課	係長	矢部 貴征	
	係員	衣笠 令子	
智頭警察署 警備課	警備課長	有田 善宏	
郡家警察署 警備課	巡查長	桑田 俊治	欠席
鳥取県 東部広域行政管理組合 消防局 警防課	警備係長	澤村 光吉	
陸上自衛隊 第8普通科連隊 第3科 運用訓練幹部	1等陸尉	船津 拓実	欠席
陸上自衛隊 第8普通科連隊 第3科 システム陸曹	3等陸曹	久吉 大悟朗	欠席
中国電力ネットワーク(株) 鳥取ネットワークセンター 配電補修課	副長	出澤 敬二郎	欠席
中国電力ネットワーク(株) 鳥取ネットワークセンター 変電課	課長	吉井 光晴	
鳥取ガス(株) 導管保安グループ	課長	村田 克彦	欠席
(株)NTTフィールドテクノ 鳥取設備部 エリアマネジメント部門	主査	広岡 孝幸	欠席
西日本旅客鉄道(株) 中国統括本部 安全推進部	課長代理	小山 俊之	欠席
日本交通(株) バス営業部	次長	山本 高広	欠席
日ノ丸自動車(株) 鳥取本社営業所	業務次長	稲村 雄一	欠席
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所	副所長	村上 友章	
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課	課長	有満 命	
	専門官	大西 季秋	
	技官	高橋 奈々未	
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 防災課	課長	大草 智	欠席
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 殿ダム管理支所	管理支所長	青木 理恵	欠席
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 道路管理第一課	課長	山崎 慎太郎	欠席
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 道路管理第二課	課長	藤阪 健司	欠席

# 令和6年度千代川水害タイムライン検討会(第14回) 配席表



# 千代川水害タイムライン検討会（第14回） 検討会資料

令和6年12月

# 目次

1. はじめに
2. 第13回検討会での意見と対応
3. 令和6年度のタイムライン発動状況

# 目次

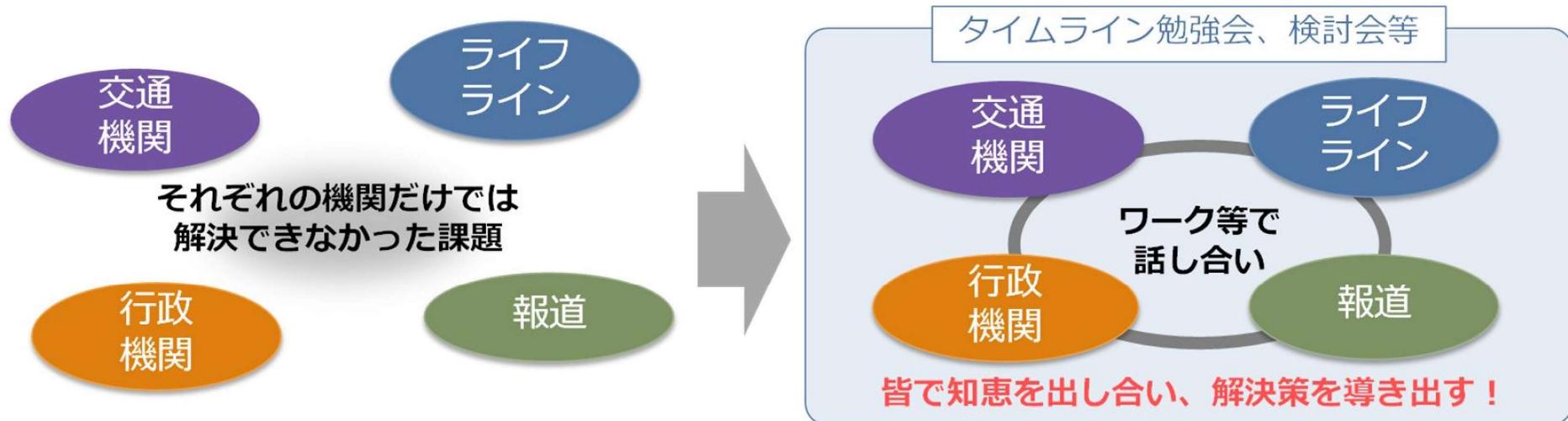
- 1. はじめに**
2. 第13回検討会での意見と対応
3. 令和6年度のタイムライン発動状況

# 1. はじめに タイムラインとは

- 「いつ」「誰が」「何を」の3つの要素を、千代川の防災に係わる組織が連携し、災害に対するそれぞれの役割や対応行動を定めた計画であり、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指して作成されました。
- タイムラインの作成・運用により、関係機関で連携した避難の呼びかけや、先を見越した浸水防止対策等の事前対応を実現し、**住民の命を守る**、さらに**経済被害を最小化**することを目指しています。

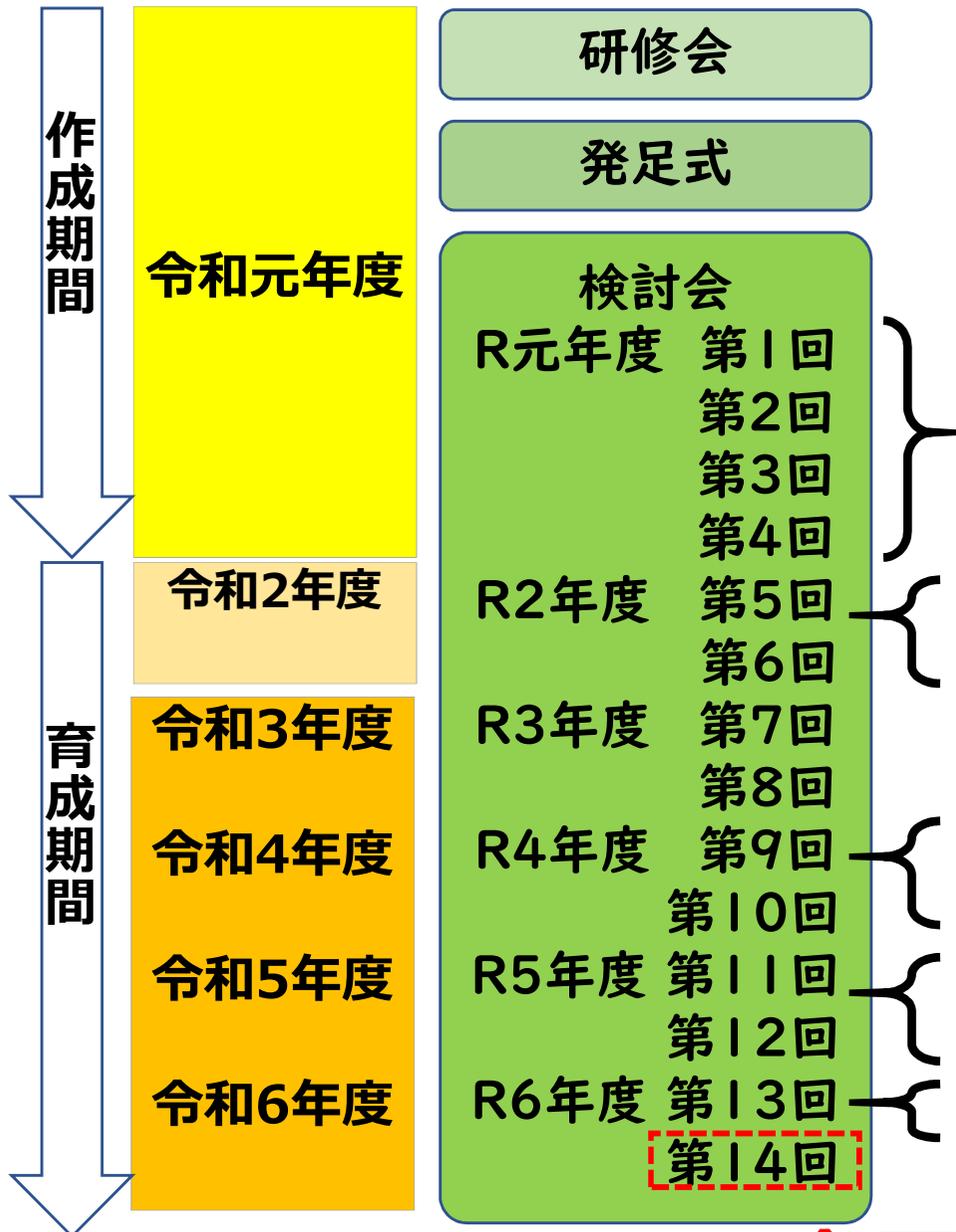
## タイムラインを導入するメリット

- ① 災害対応の**抜け、漏れ、落ちがないように、チェック**が可能になる。
- ② 「**先を見越した対応**」が可能となる。
- ③ 関係機関との協働作業で「**顔の見える関係**」が構築できる。
- ④ 「**相互の役割分担**」が明確になる。



# 1. はじめに

## 検討会の経緯



水害リスクの把握、防災行動項目の整理、重点行動項目の具体化・細分化、行動・連携主体の確認、役割分担の決定、全体共有と課題確認

**完成報告**：令和元年度版千代川水害タイムライン  
**情報伝達訓練**（1回/年）開始  
**情報共有システム完成**

**情報共有システムをポータルサイトに改良**

**ポータルサイトの改良・スマホ版の作成**  
**台風7号の被害や対応の報告**

**タイムライントリガーの見直しを実施**

今回

# 1. はじめに タイムラインの指針

## タイムライン検討会の指針

# 逃げ遅れゼロ!!

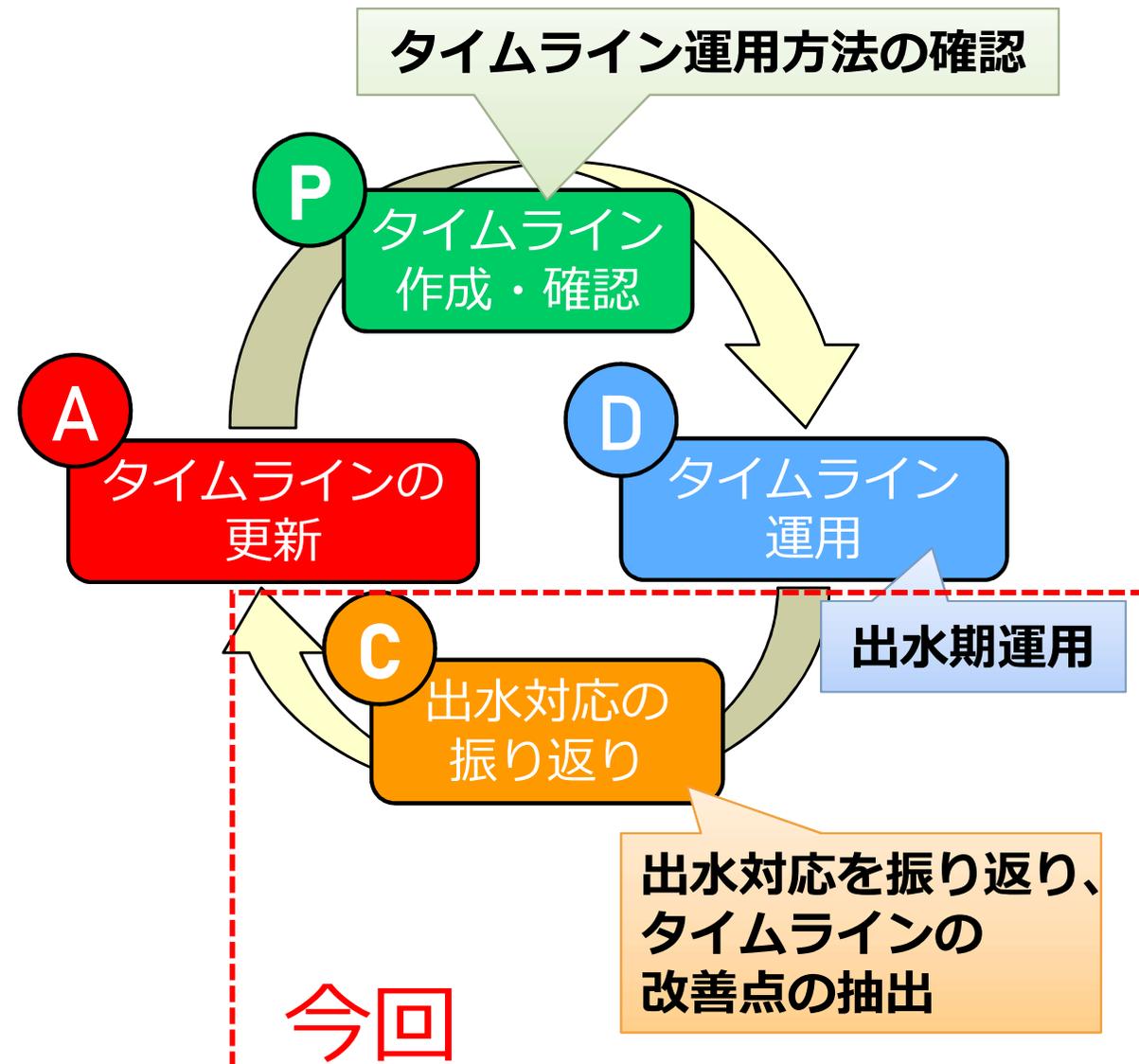
住民の命を可能な限り守ること

経済被害を最小化すること

タイムライン検討会において、  
顔の見える関係を構築し、  
出水時に関係機関との  
スムーズな連絡調整を目指すこと



## タイムラインの実効性向上



# 目次

1. はじめに
- 2. 第13回検討会での意見と対応**
3. 令和6年度のタイムライン発動状況

# 2. 第13回検討会での意見と対応

## ポータルサイトに関するご意見

所属機関	No.	記載内容	対応方針
鳥取市 危機管理部 危機管理課	1	数値予報天気図をポータルサイトの選択肢に入れてほしい。	数値予報天気図は種類が多いことから、 <b>HPリンク集へ追加済み。</b>
	2	「レーダー雨量」のタブは平時は、「今後の雨」の方が良い。	<b>HPリンク集より「今後の雨」を確認</b> いただく。

### HPリンク集

**■ 河川・気象・ダム情報**

- ▶ 国交省 川の防災情報  
“気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモニター
- 河川に関する情報
  - ▶ 川の防災情報
  - ▶ 川の水位情報
  - ▶ 気象庁 指定河川洪水予報
  - ▶ 鳥取県リアルタイム雨量  
・河川・道路・カメラ情報
  - ▶ 水害リスクライン
  - ▶ 水害リスクマップ
- 気象に関する情報
  - ▶ 気象庁
    - ・天気図
    - ・天気予報
    - ・気象情報
    - ・気象衛星
    - ・台風情報
    - ・気象警報・注意報
    - ・風向風速
    - ・高精度降水モニタリング
    - ・**今後の雨(降水短時間予報)**
    - ・大雨警報(土砂災害)の危険度分布
    - ・大雨警報(浸水害)の危険度分布
    - ・洪水警報の危険度分布
    - ・**数値予報天気図**
  - ▶ 気象庁 鳥取地方気象台
  - ▶ 国土交通省 防災情報提供センター  
レーダー雨量(X-RAIN)
  - ▶ 中国地整ダム防災情報システム

**■ 災害・避難情報**

- 災害・被害に関する情報
  - ▶ 内閣府
  - ▶ 消防庁
  - ▶ 国土交通省
  - ▶ 国土交通省 中国地方整備局
  - ▶ 鳥取河川国道事務所
  - ▶ 鳥取県
    - ・あんしんトリピーなび
    - ・とっとりwebマップ
  - ▶ 鳥取市
  - ▶ 八頭町
- 避難・救助の情報
  - ▶ 鳥取県警察
    - ・鳥取警察署
    - ・智頭警察署
    - ・郡家警察署
  - ▶ 陸上自衛隊
    - ・米子駐屯地
  - ▶ 鳥取県東部広域行政管理組合

**■ 道路・交通情報**

- 道路に関する情報
  - ▶ NEXCO 西日本グループ
  - ・ハイウェイ交通情報
  - ▶ 国土交通省 中国地方整備局
    - ・道路情報提供システム
  - ▶ 国土交通省
    - ・道路防災情報
    - ・道路防災情報WEBマップ  
(道路に関するハザードマップ)
  - ▶ 鳥取県
    - ・通行規制情報一覧
- ライフライン情報
  - ▶ 中国電力
  - ▶ 鳥取ガス(エネトピア)
  - ▶ NTT西日本

**■ メディア情報**

- 報道機関の情報
  - ▶ NHK
  - ▶ 日本海テレビジョン放送
  - ▶ 山陰放送
  - ▶ 山陰中央テレビジョン放送
  - ▶ 日本海ケーブルネットワーク
  - ▶ いなびびょんびょんネット
- 新聞社の情報
  - ▶ 毎日新聞社
  - ▶ 読売新聞社
  - ▶ 日本経済新聞社
  - ▶ 朝日新聞社
  - ▶ 新日本海新聞社
  - ▶ 山陰中央新報社
- 海象に関する情報
  - ▶ 気象庁
    - ・海上警報
    - ・日別海面水温
    - ・潮位観測
    - ・波浪観測
  - ▶ 海上保安庁 海洋情報部
    - ・潮汐・潮流情報
  - ▶ 国土交通省 中国地方整備局
    - ・潮位情報
  - ▶ リアルタイム ナウファス  
(国土交通省港湾局 全国港湾海洋波浪情報網)
    - ・ナウファス波浪データ
  - ▶ 海洋状況表示システム

**No.2 「今後の雨」はこちらから**

**No.1 「数値予報天気図」の追加**

**各情報をクリックすることでサイトへリンクします。**

## 2. 第13回検討会での意見と対応 ポータルサイトに関するご意見

所属機関	No.	記載内容	対応方針
鳥取市 危機管理部 危機管理課	3	警報の画面は、「鳥取県」のページに直アクセスが良い。 【補足】現在は中国地方版が表示されている。	スクロールで対応可能であるため、 <b>今後大きな改修が出たタイミングで変更</b> する。



現在（中国地方版が表示）

スクロールで  
拡大



鳥取県版

## 2. 第13回検討会での意見と対応 ポータルサイトに関するご意見

所属機関	No.	記載内容	対応方針
鳥取県警察本部 警備部 警備第二課	4	ポータルサイトの利便性の向上を図っていただきたい。	ヒアリングした結果「出水期の運用を踏まえた上で回答します。」との回答を得た。 ⇒特に目立った出水もなかったため、問題なかったとの回答を頂いた。 ※ ポータルサイトの改良は、今後も継続していく
陸上自衛隊 第8普通科連隊 第3科運用訓練幹部	5	ポータルサイトは一元化した方が錯誤を防げるのではないのでしょうか。 (県のポータルにTLレベルの情報を付加) 日野川・天神川等のTLともリンクさせることも1案かと思います。	県や市のポータルサイト（アプリ）は、は一般向けに作成されたものである。 一方、千代川ポータルサイトは、参加機関が「タイムラインレベルを把握する」「タイムラインを運用する上で情報共有をする」ことを目的に作成されたものであり、対象が異なる。 千代川のポータルサイトは、現在非公開（改良継続中）であることから、千代川に係る機関のみの公開とする。
鳥取ガス（株）	6	ポータルサイトで十分な情報が入手できている。	引き続き、ポータルサイトを活用いただく。

## 2. 第13回検討会での意見と対応 タイムラインの行動項目に関するご意見

所属機関	No.	Lv.	記載内容	対応方針
陸上自衛隊 第8普通科連隊 第3科運用訓練幹部	1		レベル2から「水防活動の実施」をすることになっておりますが、この段階では災害派遣を行っていない認識です。（◎→○または◎→なし）	左記のとおり、◎→なしとする。
	2	2	リエゾンの実施が◎となっておりますが、現段階では県・市の要請・調整による派遣が適切ではないかと思えます。（◎→○）	左記のとおり、◎→○とする。 ※ 要請を受けた上で派遣するため
	3		住民避難・誘導○の実行の可能性に疑問があります。（◎→なし）	左記のとおり、◎→なしとする。
	4	3	レベル2「水防活動の実施」と同様	レベル2と同様に、◎→なしとする。
	5	4	即動部隊の準備とFF準備が別になっておりますが、同一のものと認識しました。 TL3段階から◎または○、TL4～5では一部または全部を派遣するのではないかと思います。 （派遣要請による）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記載を、<b>FF（ファストフォース（即動部隊））に統一</b>する。</li> <li>・ 左記のとおり、<b>TL3から◎とし、TL2からは削除</b>する。</li> </ul>



## 2. 第13回検討会での意見と対応 タイムラインの行動項目に関するご意見

所属機関	No.	Lv.	記載内容	対応方針
鳥取市 危機管理部 危機管理課	6	4	バスが運休するタイミングが遅い。	タイムラインに基づいた訓練上のシナリオである。 ※ バスの運行停止の検討は、TL0-1から開始
グループ③ 防災情報／社会基盤 ／報道	7	-	今のタイムラインで「情報をどこから得たらいいのか」というところが不明瞭である。 どのような情報がどこから発信されるかが分かるようなタイムライン、もしくは検討会での周知等、検討が必要であると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平時からポータルサイトを活用</b>いただき、情報の収集に慣れていただく。</li> </ul>

※ グループ③は第13回タイムライン検討会で実施した意見交換のグループ

## 2. 第13回検討会での意見と対応 タイムラインレベル移行の連絡に関するご意見

所属機関	No.	記載内容	対応方針
鳥取市 危機管理部 危機管理課	1	レベル1のトリガーがわかりにくい。 これのせいで、タイムライン用の受信手段を設ける必要が出てくる。	タイムラインレベル1のトリガーについて、現状では具体的な課題がなく、 <b>台風の接近や早期注意情報を元にレベルの移行が予測できる</b> ため、 <b>自主的な確認</b> をお願いする。
	2	TLLレベルが高くなればなるほど、既に千代川以外で何か起こっている可能性が高い。 それらの対応の一連の流れで、千代川も状況に合わせて対応していくため、メールを確認している余裕があるか疑問。	千代川水害タイムラインは、行動・連携主体の確認、役割分担の決定等を行い、各機関が定めている防災行動計画をもとに作成した。 <b>タイムラインの発動中は、レベルが移行するものと認識頂き、可能な限り各自で確認いただく。</b> ※ 県及び市には、タイムラインレベルに紐づく水防警報及び洪水予警報が連絡される。
陸上自衛隊 第8普通科連隊 第3科運用訓練幹部	3	メールに加えて、県の防災FAXでいただけるとより確実かと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>メールでの周知を基本</b>とする。</li> <li>• 出水対応中は<b>FAXの送信・受信共に困難</b>であるため、<b>実施しない。</b></li> <li>• <b>自主的なポータルサイトの確認</b>をお願いする。</li> </ul>
鳥取ガス（株）	4	メールが社内体制構築の参考になっている。 FAXは埋もれるため、必要なし。	
智頭警察署	5	メールでの受信ができず、FAXのみとなる。	

※ メールの確認が困難という機関は、**件名**だけでもご確認ください。

## 2. 第13回検討会での意見と対応 タイムラインレベル移行の連絡に関するご意見

### メールイメージ

差出人	鳥取河川国道事務所 河川管理課
Cc	
件名	<b>【重要】千代川 TL発動（レベル0 - 1）</b>

千代川水害タイムライン検討会メンバー各位

鳥取河川国道事務所河川管理課より、以下のとおり連絡します。

**【重要】** タイムライン段階（レベル）について

■ 千代川水害TLレベル0 - 1（3日前準備）

主文：8月23日（金）14時00分に千代川水害タイムラインのレベルをレベル0 - 1とします。

理由：台風10号が鳥取県付近を通過する恐れがあるため。

- ・
- ・
- ・

## 2. 第13回検討会での意見と対応

### 訓練内容に関するご意見

所属機関	記載内容	対応方針
鳥取市 危機管理部 危機管理課	<p>状況が変わりすぎて、現在（想定上で）何が起きているか、どんな状況でこの行動がなされているか関係機関には分からないのではないかと思います。</p> <p>どういった状況になってこのTLレベルになっているのか、この行動が必要なのかを皆に理解してもらわないと、訓練自体ひいては千代川TLの意義を理解してもらいにくいと思います。</p> <p>昨年のお返りの時にもお伝えしましたが、検討の時間が短すぎると感じます（1分程度）。</p> <p>何を伝えたかよりも何が伝わったかを意識した訓練としていただきますようお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の訓練時間が1hと限られており、ポータルサイトの操作説明も行ったため、各機関での検討の時間が短くなった。</li> <li>・ トリガー明確化についての理解を促すため、TL1～TL 4での訓練を行う必要があった。</li> </ul> <p>【次年度以降の訓練の対応（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者へ<b>詳細な訓練スケジュールを示す。</b></li> <li>・ <b>被災想定状況を具体的にイメージできる情報を示す。</b></li> <li>・ TL1～TL2など、<b>内容を絞った訓練</b>とする。</li> </ul>
	<p>グループでの検討時間は昨年より長い時間にしていただけてよかったですと思います。</p>	<p>次年度以降も、<b>グループでの検討時間、意見交換の時間を確保</b>する。</p>

# 目次

1. はじめに
2. 第13回検討会での意見と対応
3. **令和6年度のタイムライン発動状況**

# 3. 令和6年度のタイムライン発動状況

## 令和6年度 台風10号

➤ 令和6年度出水期において、千代川水害タイムラインは**計1回発動**した。

要因	日時	TLレベル
台風第10号	8月23日(金) 14:00	0-1
	8月29日(木) 14:00	0-2
	9月2日(月) 9:00	解除

### 千代川水害タイムライン ポータルサイト

タイムラインレベル  
現在  
0-1 (3日前準備)

#### マルチ画面

水位監視・雨量監視に特化した情報の集約

■ タイムラインレベルに応じた複数の防災・気象情報を一度に同時に見たい時に活用

#### 川の水位情報

(外部サイト)

対応の遅れを防ぐための水系全体における水文情報の集約

■ 千代川は洪水到達時間が短く急激な水位上昇が発生する恐れがあるため、上流域も含めて平面的な位置関係から出水状況を把握するのに活用

#### HPリンク集

防災行動に必要な様々な情報の集約

■ 防災行動に役立つ様々な情報を確認したい時に活用

# 3. 令和6年度のタイムライン発動状況

## 令和6年度 台風10号

- 当初、台風10号は8月28日ごろに鳥取県に接近・上陸する予定であった。  
⇒台風の接近は27日頃であり、早期注意情報も出ていないが、**土日からの発動を避ける**という観点から、**8月23日にTLレベル0-1を発動**した。



鳥取県の早期注意情報（警報級の可能性）									
2024年08月23日05時 鳥取地方気象台 発表									
東部では、24日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。 中・西部では、24日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。									
鳥取県東部		23日			24日		25日	26日	27日
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	1時間最大	15以下	25	20	15以下	30			
	3時間最大	25以下	35	30	25以下	45			
	24時間最大				50から100				
暴風(雷)	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下		
		海上	10	10	9以下	9以下	9以下		
波浪	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	波高	1.5	1.5	1.5	1	1			
高潮	警報級の可能性	-			-		-	-	-
鳥取県中・西部		23日			24日		25日	26日	27日
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	1時間最大	15以下	25	20	15以下	30			
	3時間最大	25以下	35	30	25以下	45			
	24時間最大				50から100				
暴風(雷)	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下		
		海上	10	10	9以下	9以下	9以下		
波浪	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	波高	1.5	1.5	1.5	1	1			
高潮	警報級の可能性	-			-		-	-	-

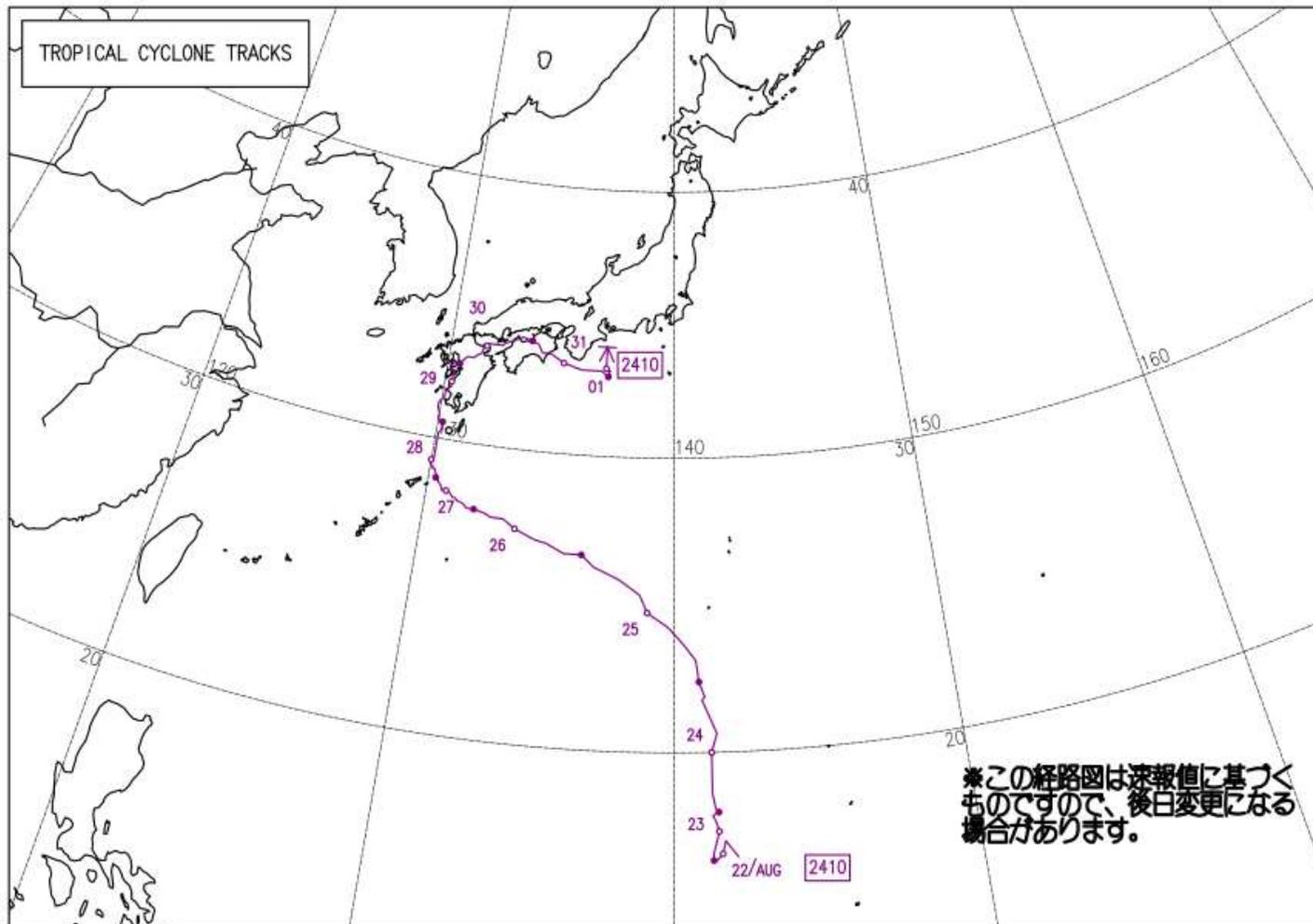
■ 【高】 ■ 【中】  
▼ 早期注意情報の説明を表示する

8/23日時点の台風進路予想・早期注意情報（気象庁HPより）

# 3. 令和6年度のタイムライン発動状況

## 令和6年度 台風10号

- しかし、台風10号の進路は大きく西側に逸れ、当初の予想から大きく遅れる形となった。  
⇒進路の変更を受け、**8月29日（木）14:00にタイムラインレベルは0-2へ移行した。**
- 9月1日 12時には、熱帯低気圧に変わった。  
⇒それに伴い、タイムラインレベルも解除された。



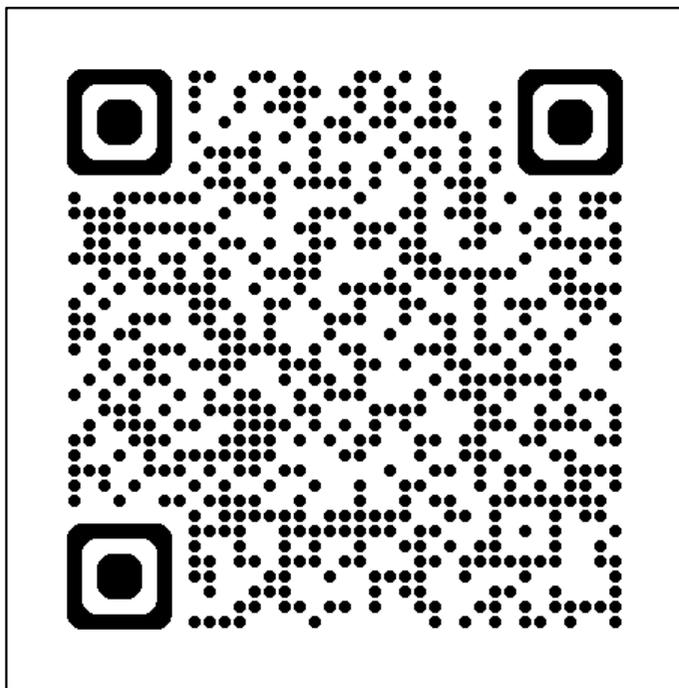
# 最後に

## ～ポータルサイト URL変更のご案内～

- ポータルサイトが試験サーバから本局サーバへ移行されました。
- それに伴い、**URL及びQRコードが変更**になりました。
- **ホーム画面への追加・お気に入り登録**をお願いいたします。

## □アクセス先

[https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/sendagawa\\_timeline\\_portal/index.html](https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/sendagawa_timeline_portal/index.html)



### [PCの場合]

- ①お気に入りバー等にお気に入り登録



- ②デスクトップにリンクを作成



### [スマホの場合]

- ①ホーム画面にリンクを作成



**以下、参考資料**

## 4. 事前計画・多機関連携等の好事例紹介

### (1) 浸水時にバスを100台大移動（令和元年東日本台風）

- 千曲川の決壊により北陸新幹線が水没・廃車になるなど交通事業者への被害が出る中、長電バス長野営業所では決壊当日の早朝から路線バスを運休し、バスを避難させた。
- 移動先として土地が高く広い駐車場のある公園や国土交通省長野運輸支局の敷地を選定・調整し、続々と出勤した職員によって人海戦術でバスを移動させた。



→ 道路が冠水するなかでの車両避難の様子

出典) 乗りものニュース (令和元年11月16日)

#### POINT

バスを移動させることのできる広い駐車場を事前に把握しておいたこと、迅速な職員招集を行ったことにより、2~3時間での移動が可能となった。また、これにより2日後には通常の運行を再開することができた。

# 4. 事前計画・多機関連携等の好事例紹介

## (2) 役立った地区の行動計画（令和元年東日本台風）

➤ 四方を川に囲まれた足立区では、小中学校など避難所135カ所に3万3000人以上が避難した。このうち、中川氾濫に備えた行動計画（コミュニティ・タイムライン）がある中川地区では、早い段階で対策会議や早めの避難所開設などの対応をとることができた。

<避難所：長門小学校における被災時の主な対応>

- 台風が上陸する2日前の10日午前10時に地区の同小を避難所とする運営会議メンバーによる対策会議を開催
- 中川氾濫に備えた地区の行動計画「コミュニティ・タイムライン」づくりにも協力したNPO法人「環境防災総合政策研究機構（CeMI）」は「**経験したことのない暴風や大雨、高潮、荒川・中川の氾濫が同時多発的に起きる可能性がある**」と最大限の警戒を呼びかけ
- 地元の長門南部町会などは**注意喚起の文書を各戸に配布**
- **避難者数に応じて特別教室や二階の教室も開放**（ペット連れは別室の会議室などで対応、体が不自由で支援が必要な高齢者などはカーペットがある部屋に案内）
- 一階の避難物資の倉庫が水没する恐れがあるとして**校内放送で避難者に協力を呼び掛け**、約30人で物資を二階に移動
- 子どもたちがストレスを抱えないように、校長の発案でDVDでアニメを鑑賞できる教室も設置



出典）東京新聞（令和元年11月13日）

### POINT

東京東部の海拔「ゼロメートル地帯」に位置する中川地区は2015年の関東・東北豪雨で中川が氾濫危険水位に達して危機感を高め、平成30年度に中川氾濫に備えたコミュニティ・タイムラインを策定していた。

# 4. 事前計画・多機関連携等の好事例紹介

## (3) 携帯電話基地局等の早期復旧（令和2年7月豪雨）

- 携帯電話基地局や通信ビルの早期復旧に向けて、通信事業者と陸上自衛隊（西部方面隊）との災害時相互協力協定等に基づき、自衛隊ヘリによる作業員や通信機材の運搬等による連携により、スムーズな応急復旧につながった。



立入困難な基地局に、自衛隊ヘリから作業員・発電機を輸送  
(写真提供:KDDI株)



基地局へのアクセス困難  
(写真提供:ソフトバンク株)



通信ケーブルの復旧作業における回線事業者との連携  
(引用元:株QTnetホームページ)



可搬型基地局等の資材の運搬  
(写真提供:KDDI株)

河野太郎さんがツイート

陸上自衛隊西部方面隊 @JGSDF\_WA\_pr · 7月16日

【令和2年（2020年）#7月豪雨 対応に係る #災害派遣（第32報）】

#航空自衛隊 #芦屋救難隊（芦屋）は、不通になっていた携帯電話回線を復旧させるため、陸路での前進が困難な地域（八代市坂本町中津道地区）へ #ソフトバンク 社の事業者及び通信器材を輸送しました。



UH-60に搭載する通信業者の様子(航空自衛隊芦屋救難隊：芦屋基地)



陸上自衛隊西部方面隊  
2020年7月16日  
熊本県 江田村



現地到着後に通信器材を卸す通信業者の様子(航空自衛隊芦屋救難隊：芦屋基地)

ソフトバンクと自衛隊との連携時における河野防衛大臣のリツイート

出典) 総務省 | 「令和2年7月豪雨」等における通信確保に関する総務省の取組み

### POINT

- ・ 道路啓開状況について、通信事業者、関係市町村・県、国土交通省や自衛隊等との間で、情報共有等が実施され、携帯電話基地局へのアクセス可否がわかり、効率的な応急復旧が推進された。
- ・ 災害時相互協力協定等に基づき、自衛隊ヘリによる通信機材等の運搬による連携が推進された。

# 4. 事前計画・多機関連携等の好事例紹介

## (4) 計画運休の発表（令和元年 台風19号）

- 計画運休を**前々日に発表**したことが、商業施設や各種イベントの**「早めの取りやめ」**利用者の**「不要な外出を控える」**ことにつながった（JR東日本）。

	6時 12時 18時	6時 12時 18時	6時 12時 18時	6時 12時 18時	振り返り
2018年 台風24号	9/28 (金)	9/29 (土)	9/30 (日) ★12:15発表 「20時頃から全線運転見合わせ」 ◎ 20:00頃 和歌山県上陸 ★4:00発表 「始発から全線見合わせ」 6:04 山手線再開	10/1 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画運休実施<b>8時間前の発表</b>により、<b>大きな混乱が生じた。</b></li> <li>・未然に被害を防ぐという意味で、計画運休は<b>社会に受け入れられつつある。</b></li> </ul>
2019年 台風19号	10/10 (木) ★10:30発表 「10/12,13の運転を取りやめる可能性あり」	10/11 (金) ★10:45発表 「10/12の10時頃運転を取りやめ、 13日は少なくとも昼頃まで見合わせ」	10/12 (土) ★10:30発表 「10/13は少なくとも昼頃まで運転見合わせ」 ◎ 19:00頃 伊豆半島上陸	10/13 (日) 8:00 山手線再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画運休を<b>前々日に発表</b>したことが、商業施設や各種イベントの<b>「早めの取りやめ」</b>利用者の<b>「不要な外出を控える」</b>ことにつながった。</li> <li>・運転再開見込みは、具体的な時間は用いずお客さまが<b>幅のある時間帯をイメージできる表現</b>とすることで駅での<b>混乱を回避。</b></li> </ul>

過去に実施した『計画運休』時系列と振り返り

出典) 運輸事業の安全に関するシンポジウム2020 | JR東日本の取り組みについて

POINT

計画運休の予定を早めに周知することにより、**大きな混乱を回避**することができた。

# 連携項目抽出版タイムラインの更新 に関する説明資料

令和6年12月

# 目次

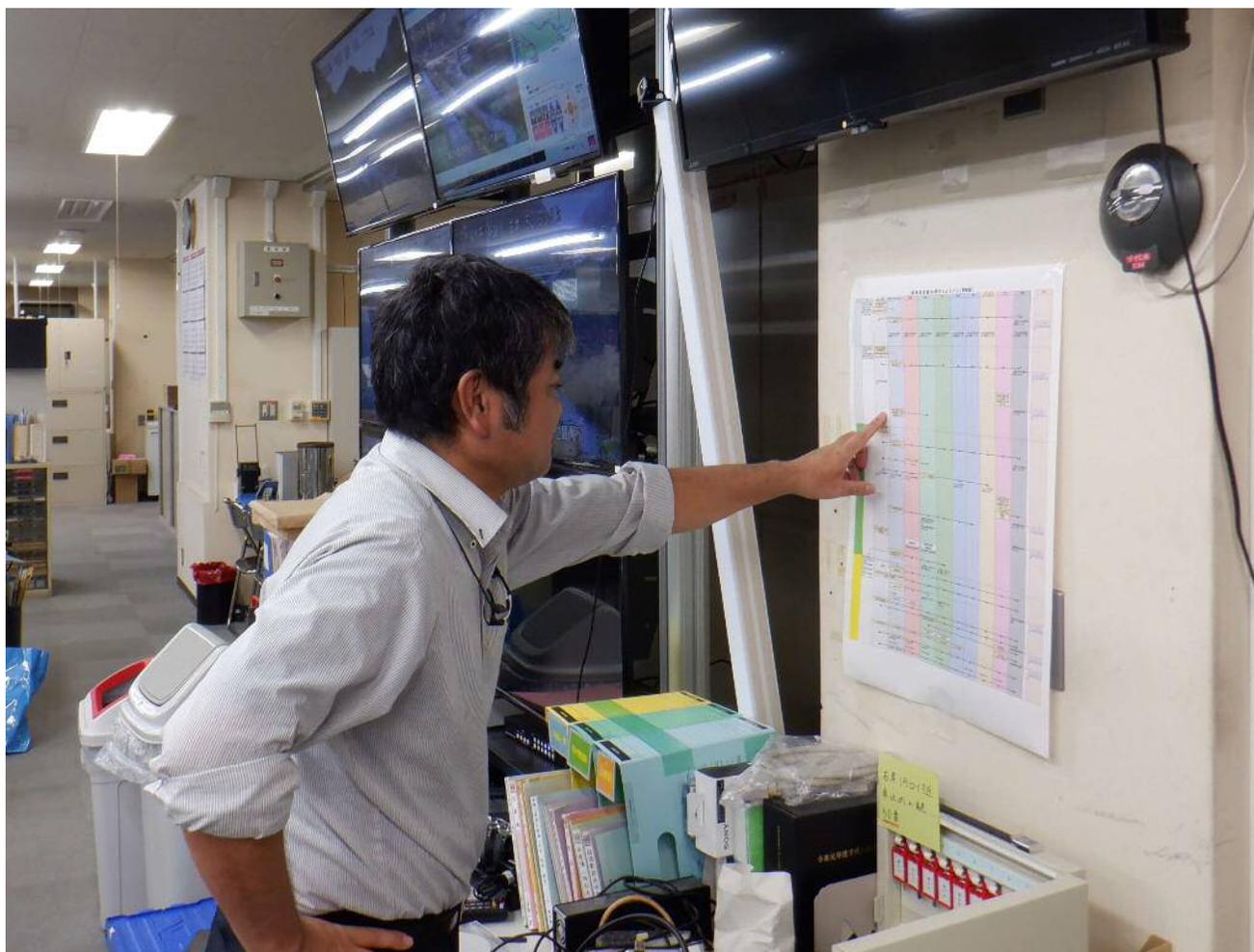
1. 連携項目抽出版タイムラインの更新について
2. 更新方針
3. 更新イメージ
4. 今後の調整



# 1. 連携項目抽出版タイムラインの更新について

## 多機関連携のさらなる強化を目指して

- **「連携項目抽出版タイムライン」の具体的な活用方法**  
タイムラインが発動されたら、各機関の災害対策本部等で、  
当タイムラインをホワイトボードや壁面等に掲載し、  
災害対応に活用（連携部分の見える化、重要事項の再確認等）



## 2. 更新方針①

### 多機関連携のさらなる強化を目指して

#### 《重要項目の抽出方針》

各機関が保有している防災行動計画や最新の取組内容との整合性を図りつつ、災害時に発生する状況を予想し、各機関が円滑に防災行動を実現するため、

**「連携」・「周知・共有」**をキーワードにとりまとめる。

#### ① 関係機関と「連携が必要な行動項目」を抽出【トリガーとなる情報】

- 関係機関間で連携が必要な行動項目（関係機関が節目となる防災行動を実施するキッカケになる行動項目）をとりまとめる。

#### ② 関係機関に「周知・共有しておくべき重要な行動項目」を抽出【心構えとなる情報】

- 関係機関がトリガー情報をきっかけに、節目となる防災行動をとる前の準備として、参考となる他の機関の動き（防災行動）をとりまとめる。

## 2. 更新方針②

### 多機関連携のさらなる強化を目指して

#### ■重要項目の抽出の具体例

##### ①関係機関と「連携が必要な行動項目」を抽出【トリガーとなる情報】

- 関係機関間で連携が必要な行動項目（関係機関が節目となる防災行動を実施するキッカケになる行動項目）をとりまとめる。
- 気象台が気象業務法に基づき発表する大雨警報などの情報や河川管理者が水防法に基づき発表する洪水予報などの情報を中心に抽出する。

##### ■具体例

- ・ 気象台の台風情報や大雨・洪水警報→タイムライン立ち上げ・移行（各機関行動開始）
- ・ 水防警報（待機・出動・指示）発表→水防団待機・出動・水防工法実施
- ・ 洪水予報（氾濫注意・避難判断・氾濫警戒・氾濫発生）  
→避難情報の発令、交通機関の運休、ライフラインの復旧対応準備など

##### ②関係機関等に「周知・共有しておくべき重要な行動項目」を抽出【心構えとなる情報】

- 関係機関がトリガー情報をきっかけに、節目となる防災行動をとる前の準備として、参考となる他の機関の動き（防災行動）をとりまとめる。

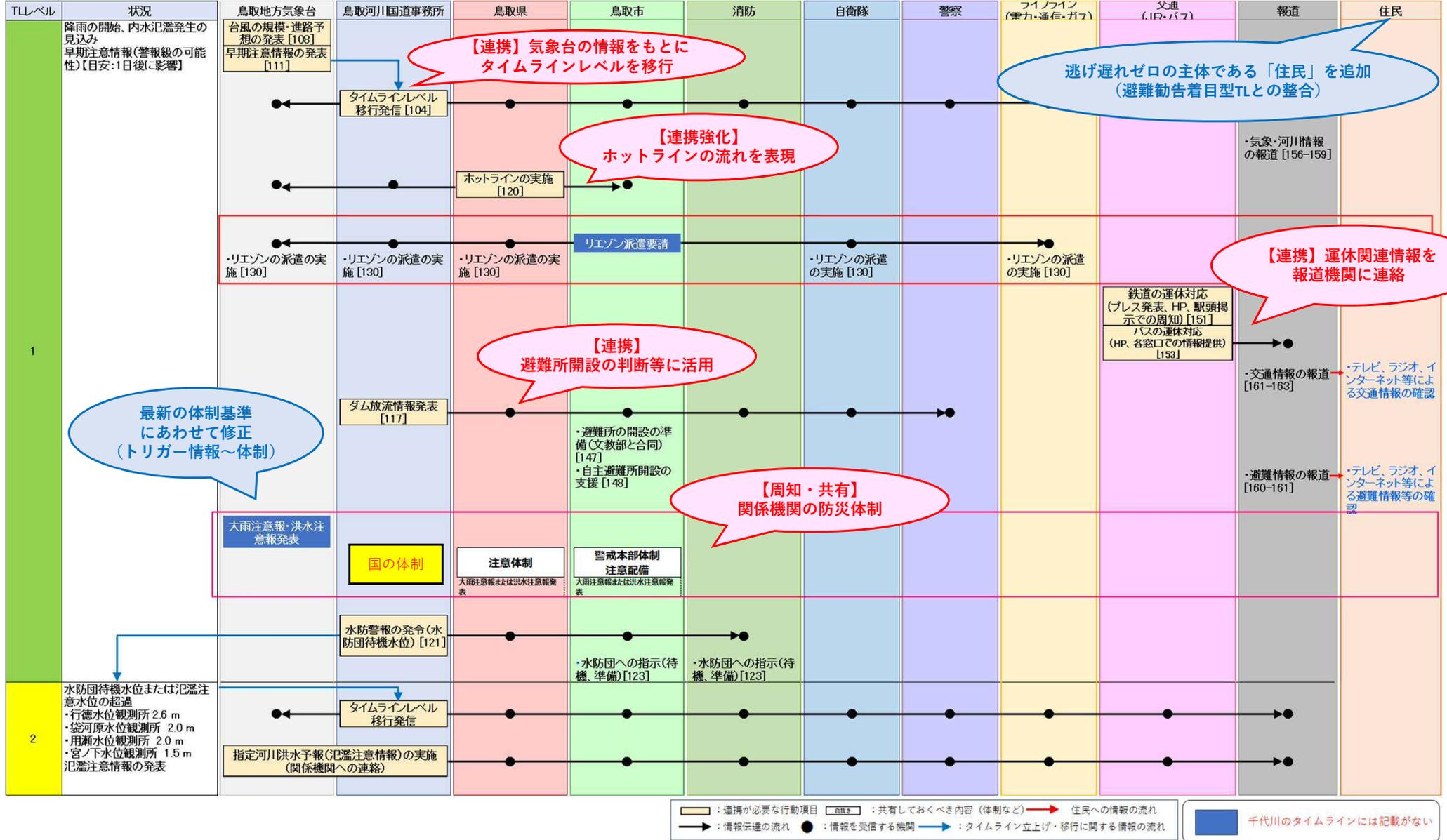
##### ■具体例

- ・ 地域の安全確保のために各機関が行う施設点検に関する情報（河川巡視や道路パトロール等）
- ・ 円滑な防災活動のために各機関が行う防災体制に関する情報（災害対策本部の設置等）

# 3. 更新イメージ

## 多機関連携のさらなる強化を目指して

### 連携項目抽出版タイムライン(更新案)



青：時点更新 + 住民追加のみ

## 4. 今後の調整

多機関連携のさらなる強化を目指して

### □確認事項（お願い事項）

- ・ 【①連携】，【②周知・共有】の項目として問題ないか？

追加：●●（理由：ex.機関Aとの連携で必須なため）

削除：●●（理由：ex.自機関完結の対応であるため）

更新：●●（理由：ex.最新の取組と整合させるため）

### □今後のスケジュール

- ・ 12月：事務局案を提示
- ・ 1月：各機関で確認（適宜調整）
- ・ 2月：タイムライン検討会で共有（最終調整）